



平成23年度 ミュゼふくおかカメラ館 秋の企画写真展

野町和嘉写真展

地球巡礼

人と大地のドキュメント

会 期 平成23年 9月3日(土)～11月6日(日)

開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
9/23(金・祝)【つくりもんまつり開催中】は、午後8時(入館は午後7時30分)まで夜間延長します。

入館料 一般 600円、大学生・高校生 300円、中学生・小学生 100円
※20名以上の団体は2割引 ※土・日・祝日は高校生以下無料

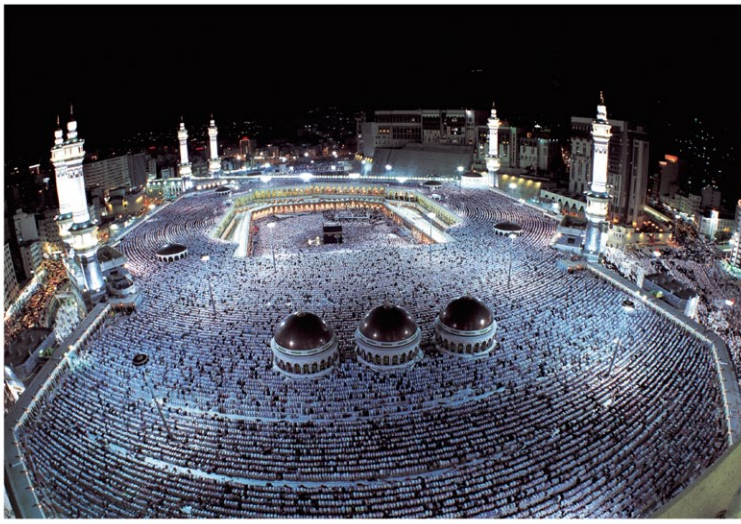
休館日 月曜(祝日の場合はその翌日)、9/27(火)、11/4(金)

(財)高岡市民文化振興事業団
ミュゼ ふくおか カメラ館
FUKUOKA CAMERA MUSEUM

野町和嘉ギャラリートーク&サイン会
平成23年9月3日(土)午後2時～

〒939-0117 富山県高岡市福岡町福岡新559番地 TEL (0766)64-0550 FAX (0766)64-0551
<http://www.camerakan.com> info@camerakan.com

主催/財団法人高岡市民文化振興事業団 ミュゼふくおかカメラ館 共催/高岡市・高岡市教育委員会・北日本新聞社・北日本放送・北陸放送 協力/キヤノンマーケティングジャパン株式会社



この秋、当館では国際的に活躍するフォトジャーナリスト・野町和嘉氏による写真展「地球巡礼—人と大地のドキュメント」を開催いたします。壮大で過酷な自然と、そこに生きる人々の祈りと暮らしをとらえた作品約120点を一堂に紹介し、文化の違いを超えてひたむきに生きる人々と向き合い、長年にわたって世界に発信し続けてきた圧倒的な迫力の世界をお届けします。辺境の地で、絶対的なものに祈りしかなかった人々の姿を追い続けた、まさに野町氏の40年にわたる人と大地の記録であり、その異次元の世界を写し取ったアートのような美しさに思わず胸が震えます。その感動はいつしか現代に生きる私たちに、人間とは何か、写真とは何かを問いかけ語りかけてきます。

平成23年度 ミュゼふくおかカメラ館 秋の企画写真展

野町和嘉写真展

平成23年9月3日(土)~11月6日(日)

地球巡礼

— 人と大地のドキュメント —

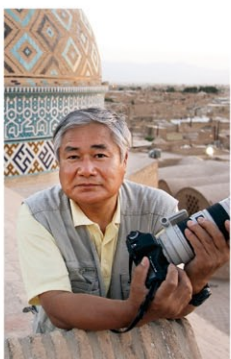
◆野町和嘉メッセージ

20代半ばでサハラを訪れ、過酷な風土を生きる人々の強靱さに圧倒されたことがきっかけとなって、今日までドキュメンタリー写真を撮り続けてきました。訪れた土地の大半はいわゆる辺境の地であり、厳しい自然と向き合いながら、人々は自らの宗教文化に強いこだわりを抱いて生きていました。あるいは民族間の軋轢や理不尽な歴史のしがらみを背負いながらも懸命に生き抜く姿に魅せられ撮り続けてきました。

ところがそれら辺境の地にあっても、昨今、人々の意識は劇的に変わりつつあります。グローバル化のひとつの局面である、効率、利便性といった共通の価値観にむかって、地球上があたかもアイロン掛けされた一枚のシートであるかのように急速に画一化、平準化されつつあるというのが、私の印象です。約40年にわたって撮り続けてきた作品のなかには、暮らしが激変して歴史記録となった作品も少なくありません。これら民族文化の記録を、混迷の現代を映す、ひとつの合わせ鏡としてご覧いただければと思います。



野町和嘉ギャラリートーク&サイン会
平成23年9月3日(土)午後2時~



◆野町和嘉(のまちかずよし)プロフィール

1946年高知県生まれ。写真家・杵島隆氏に師事し、1971年にフリーの写真家となる。1972年、20代半ばでサハラ砂漠に旅したことがきっかけとなって、ナイル、エチオピア、グレート・リフト・ヴァレーなどアフリカの乾燥地帯の取材を続ける。1980年代後半より舞台を中近東、アジアに移し、中国、チベット、サウジアラビア等での長期取材を重ね、2002年以降、アンデス、インドに取り組んでいる。1984年『バビル』『サハラ悠遠』で土門拳賞、1990年『長征夢現』『ナイル』で芸術選奨文部大臣新人賞、日本写真協会年度賞、2002年に大同生命地域研究特別賞、ほかを受賞。2009年紫綬褒章。他の写真集に『メッカ巡礼』『チベット』『地球巡礼』『サハラ、砂漠の画廊』など。

<http://www.nomachi.com>



【お問い合わせ先】

ミュゼふくおかカメラ館
〒939-0117
富山県高岡市
福岡町福岡新559番地
TEL (0766)64-0550
FAX (0766)64-0551
<http://www.camerakan.com>
info@camerakan.com

(財)高岡市民文化振興事業団

ミュゼ ふくおか カメラ館

FUKUOKA CAMERA MUSEUM